

2005年度 原子核三者若手夏の学校案内

2005年8月6日(土)～8月11日(木)
於 東京都 代々木 「国立オリンピック記念青少年総合センター」

後援：基礎物理学研究所 素粒子論グループ
協賛：日本物理学会 RCNP 原子核談話会 高エネルギー研究者会議

本パンフレットは夏の学校準備校 大阪大学によって作成されています。

目次

1	2005年度原子核三者若手夏の学校のインフォメーション	2
2	はじめに	3
2.1	夏の学校準備校からのあいさつ	3
2.2	重要連絡事項	3
3	原子核三者若手とは	4
4	原子核三者若手夏の学校概要	6
4.1	原子核三者若手夏の学校とは	6
4.2	女性用相談窓口について	7
5	日程・内容	8
5.1	夏の学校期間中のスケジュール	8
5.2	三者共通講義(8/6)	8
5.3	素粒子パート	9
5.4	原子核パート	9
5.5	高エネルギーパート	10
6	注意事項	11
7	交通手段	12
7.1	公共交通機関を利用する場合	12
7.2	施設周辺地図	12
A	施設案内	13
B	センター棟各階平面図	14

1 2005 年度原子核三者若手夏の学校のインフォメーション

今年の夏の学校は下記の日程でおこないます。

開催期間：2005 年 8 月 6 日(土)～8 月 11 日(木)

開催場所：東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

独立行政法人「国立オリンピッククック記念青少年総合センター」

- TEL: 03-3467-7201(代表)
- FAX: 03-3467-7797
- HP: <http://www.nyc.go.jp>

夏の学校 Web page : <http://kabuto.phys.sci.osaka-u.ac.jp/~sansha/>

必要経費：

参加費	3000 円
宿泊費(単価)	1,150 円
朝食(単価: カフェテリアふじ)	450 円
昼食(単価: カフェテリアふじ)	540 円
夕食(単価: カフェテリアふじ)	670 円
懇親会	3000 円

予約無しでも、食事は可能

予約の無い場合、昼食のみ上記の値段より 50 円増

レストランへの弁当等の持込は禁止

懇親会:8 月 8 日(月)18:00

場所:国際交流棟レセプションホール

食事と飲み物(アルコール類)はこちらで用意します

問い合わせ先 準備校 大阪大学 原子核三者若手

E-mail address : sansha-query@het.phys.sci.osaka-u.ac.jp

2 はじめに

2.1 夏の学校準備校からのあいさつ

原子核三者若手夏の学校は、素粒子・原子核・高エネルギー物理学の若手研究者の交流の場で、今年で51回を数えます。その運営は参加者自身によってなされます。若手研究者とは言っても参加者の多くは学生で、また講師による招待講演も学生向けに考慮されています。そのため気軽に意見交換や質問を行える場だと思います。同世代の人たちの興味と研究内容を知る機会でも有り、横の繋がりを作る機会でもあります。皆様にとって有意義な一週間となれば幸いです。

2.2 重要連絡事項

- 来場の際には、必ず本部（センター棟108号室）にて受付をしてください。また、宿泊施設については、受付時に宿泊棟の確認をしてください。
- 現地での予約（食事・宿泊）の変更はできません。
- 宿泊室、談話室の利用はセルフサービス方式です。特に利用最終日の朝に「宿泊室利用確認カード」、「生活のしおり」を参考に、清掃、整頓を必ず行ってください。
- 講義・研究会会場 { 素粒子： セ-101
原子核： セ-416
高エネ： セ-403
三者全体： セ-417
- 講義・研究会時間 { 午前： 8:45～12:00
午後： 13:30～16:45
夜： 18:30～22:00.
- 懇親会会場 { 場所： 国際交流棟レセプションホール
時間： 8月8日（月）18:30～22:00
- 食事の場所、時間 { 場所： カフェテリアふじ（センター棟2階）
朝食： 7:00～9:00
昼食： 11:30～13:30
夕食： 17:00～19:00
講義時間に間に合うように注意してください。
- 入浴施設、時間 { A棟利用者： 各ユニットの浴室を利用してください。
B棟、C棟利用者： 浴室棟（B棟横）17:00～23:30
- 相談窓口、自習室 { 夏の学校本部：セ-108
自習室：セ-109(8/6)、セ-510(8/7～8/11)

3 原子核三者若手とは

三者若手の「三者」とは、原子核物理、高エネルギー物理学、素粒子論物理学のことを指す。三者若手は、これらの分野の将来を担う研究者の集まりで、日本全国の大学院の素粒子理論・実験、原子核理論・実験、高エネルギー実験の研究室に所属する大学院生などの若手研究者からなる団体である。英語名は "YOUNG NUCLEAR and PARTICLE physicist group of JAPAN(YONUPA)"

目的、活動

大学院学生が、自分の大学の中に閉じ込められず、同じく物理を研究する他大学の院生と広く交流し、各々の物理を育てる。また、1つの大学の院生だけでは解決できない問題に対して協力して対処する。実際に全国の大学院生が集まるのは、春、秋の学会と夏の学校の3回だけである。しかもそのうち学会での集まりは、時間も2時間と制約されているし、研究活動で多忙なためか、出席者数は20人前後であり、小規模である。もっとも重要で規模も大きいのは夏の学校である。

構成

原子核三者若手 { 素粒子若手
原子核若手
高エネルギー若手

構成員

院生とODとを中心とした全国の若手研究者

若手研究者の果たすべき役割

学術研究の正しい発展に貢献し、それを保証する研究体制を作っていく。

若手活動の意義

原子核物理学をはじめとする高エネルギー物理学を共通の基盤に持つ若手研究者間の横のつながりをもとに、若手活動を通して学問研究内容の向上、研究環境の改善への積極的な取り組みなどを行うものである。

現在の主な課題

- 予算について
予算申請、予算獲得、給金・役職校補助問題
- 役職校の選定について
ローテーションの改訂、役職校基準の制定
- 夏の学校不祥事対策について
セクハラ、盗難
- 若手活性化について
DCアプスト
- 総会について
春秋学会における総会の権限、臨時総会財源
- WGについて
規約WG、M大連

- 決算報告の正常化について

詳細は過去の議案書参照。

年間行事

- 原子核三者若手名簿の作成
- 夏の学校
講義や研究会、三者総会などが行われる。
- 秋の三者総会
学会のついでに集まって話し合う。
- 春の三者総会
上に同じ

現在の組織

93年度から、担当校の決定には Rotation 制が導入されている。[]内の大学は 2005 年度担当校。

- 三者センター校 [東工大学] 三者のとりまとめ、補助要請、予算・決算
- 三者事務局 [名古屋大学] 若手活動の運営、三者総会運営
- 夏の学校準備校 [大阪大学] 夏の学校の準備、運営
- 名簿校 [茨城大学] 全国の若手の名簿を作成する。
- HP・ML 管理校 [千葉大学] yonupa-ml, yonupa home page の管理
- 各パートセンター, 事務局
 - － 原子核センター校 : [大阪市大学]
 - － 素粒子事務局校 : [神戸大学]各パートでの予算の取り扱いなどを行う。
- 各パート夏の学校準備校
 - － 原子核 : [新潟大学]
 - － 素粒子 : [新潟大学]
 - － 高エネ : [東邦大学]夏の学校での各パートの準備、運営を行う。
- 素粒子パート講義録作成校
弦理論: [筑波大学]、場の理論 : [新潟大学]、現象論: [首都大学東京 (東京都立大学)] 素粒子パートの講義録を分野別に分担して作成する。

4 原子核三者若手夏の学校概要

4.1 原子核三者若手夏の学校とは

国内には多くの研究会が存在するが、その研究会のひとつとして原子核三者若手夏の学校（以下、夏の学校と略称）がある。他の研究会では、あるテーマの元に国内の第一線の研究者が集まり、自らの研究成果などを発表するものであるが、夏の学校には他の研究会とは異なる以下のような大きな特徴がある。

- 参加者のほとんどが各大学および研究機関に所属する学生となっている。
- 規模は全国規模で行われている。
- 企画、運営はすべて学生によって行なわれている。
- 1週間ほどの期間同じ宿泊施設で生活をともにする合宿型研究会である。
- 物理学のもっとも基本的な部分に対して異なる視点で研究する3つのパート「素粒子」、「原子核」、「高エネルギー」から構成される。

物理学のもっとも基本的な部分に興味を持ち研究している同年代の学生が一週間のあいだ共に生活し、交流を深め、また第一線の研究者の話を聴くことで、今後の参加者それぞれの研究に役立てていくことを目的としている。この夏の学校を通して現在活発に研究されているトピックスを広く知り、また参加者自身の専門以外の分野を研究する同輩と交流することで、物理学に対する広い視野を身につけることも可能となるであろう。

今年の夏の学校開催期間のあらまきは以下のようになっている。

時期 8月6日（土）～8月11日（木）

全日程に出席しなくてはならないわけではなく、どこにどう参加するかは各人の自由である。ただし、M1の諸君には各分野の講義すべてに出席することを強く推薦しておく。

場所 東京代々木「国立オリンピック記念青少年総合センター」

参加人数 300人程度

講義 国内の関連分野の第一人者（大学、研究機関などの教官）による講義。今年度行なわれる講義の詳細は §5 参照。

研究会 基本的に大学院生の中から talker を募って、1人30分程度の時間内で日頃研究していることを発表する。その他、各パートによって様々な企画が行なわれている。

三者企画 三者全体を対象とした企画である。今年度は夏の学校特別講演として、三田 一郎 氏（名古屋大学）に「大きなCPの破れの発見」という題目で講演をしていただく。

開校式 夏の学校参加に関するオリエンテーション、注意事項など。

懇親会 夏の学校参加者全体での、顔合わせの場である。共通の場で飲食をすることでお互いの名前を覚え、交流を深めることを目的とする。出来る限り参加することが望ましい。

三者総会 各大学が分担した夏の学校への取り組み、および活動の結果の報告を行い、さまざまな意見を出し合い議論する場である。夏の学校の運営に関する今後の方針などを決定する。また、次期担当校の決定も行う。

パート総会 各パート毎で、活動の結果の報告を行い、意見を出し合い議論する場。各パートで主な議論の内容は異なる。

4.2 女性用相談窓口について

皆さんもご存じかと思いますが、2000年度の夏の学校ではセクハラに関する不祥事が起きました。この事態を重く見て、翌年2001年度の夏の学校から「セクハラ対策・相談窓口」が設けられました。今年度は「女性用相談窓口」として携帯電話を用意致します。

- 女性用相談窓口問題が生じた場合、安心して相談できる場所がこの「相談窓口」です。当窓口では被害にあった方を第一に考え、相談にのります。また犯罪性の強い場合や被害者の希望があれば、警察に通報することもあります。いずれの場合も被害者を第一に考えますので、何かあったら(些細な事でも)安心して、お気軽にお電話下さい。(電話番号は受付時に渡す注意書きを参照)また今後の活動の参考のため、周囲への啓発のため、プライバシーに触れな範囲で被害状況を文書に残したいと考えています。

窓口代表 網代 貴江(大阪大学 M2)

5 日程・内容

5.1 夏の学校期間中のスケジュール

夏の学校期間のスケジュールはおおまかに次ようになっていきます。

素粒子論パート (セ-101)

	8:45 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	18:30 ~ 22:00
8月6日(土)			開校式・三者共通講義
8月7日(日)	講義 A	研究会 A	パート総会
8月8日(月)	講義 A	研究会 B	懇親会
8月9日(火)	講義 B	三者総会	
8月10日(水)	講義 C	研究会 B	研究会 C
8月11日(木)	講義 C		

原子核パート (セ-416)

	8:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	18:30 ~ 22:00
8月6日(土)			開校式・三者共通講義
8月7日(日)	講義 A	研究会 A	パート総会
8月8日(月)	講義 A	研究会 B	懇親会
8月9日(火)	講義 B	三者総会	
8月10日(水)	講義 B	講義 C	研究会 C
8月11日(木)	講義 C		

高エネパート (セ-403)

	9:00 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	18:30 ~ 22:00
8月6日(土)			開校式・三者共通講義
8月7日(日)	研究会 1	講義 B	パート総会
8月8日(月)	講義 B	研究会 2	懇親会
8月9日(火)	研究会 3	三者総会	
8月10日(水)	講義 A	講義 A	

開校式、三者共通講義、三者総会はセ-417で行います。

懇親会は国際交流棟内レセプションホールで行います。

5.2 三者共通講義 (8/6)

「大きな CP の破れの発見」 三田 一郎 氏 (名古屋大学)

わずか 0.2% の CP の破れが 1964 年に K 中間子の崩壊で発見された。1980 年に B 中間子における CP の破れは 15% 以上であることが予言された。この大きな CP の破れの発見に向かい、我が国と米国の加速器及び実験研究者が競った。勝利するには既存したルミノシティの約 1000 倍で、しかも非対称的な加速器を建設する必要があった。5 年間のマラソン競争の結果、2000 年に、大きな CP の破れが KEK 及び SLAC で同時に発見された。この CP の破れについて背景、基礎知識、実験結果、今後の展望を含めて話す。

5.3 素粒子パート

講義 A(8/7-8) : 「超弦理論における D-brain とタキオン場」 杉本 茂樹 氏 (京都大学基研)

長い間、超弦理論にはタキオンがないと考えられていたが、最近、いくつかの超弦理論はタキオン場を含むより大きな枠組みに拡張されることが分かってきた。このタキオニックな超弦理論の枠組みは D ブレインなどの超弦理論の非摂動的な構造を理解する上で大変重要な役割を果たし、さらに、これらの超弦理論に基づく宇宙観にも変革を迫る可能性がある。今回の講義では、弦理論、D-brane、ソリトンなどに関する基本的な事柄をおさえつつ、弦理論におけるタキオン場にまつわるいろいろな面白い現象を解説する予定である。

講義 B(8/8-9) : 「Superstring Phenomenology」 小林 達夫 氏 (京都大学物理教室)

弦理論は、重力を含む統一理論の有力な候補です。そのような理論からどのようにして素粒子物理学の様々な現象論的性質を導こうとしているのかという試みを解説します。最近では、D ブレーンの発見、M 理論等の発展により、これまでの弦模型とは異なる様々な新しいタイプの模型を構成する可能性が調べられています。このような新しいタイプの弦模型と従来から知られていた弦模型の現象論的性質の類似点、および、相違点を説明します。その内容には、質量ゼロスペクトラム、ゲージ結合、湯川結合等の結合定数、超対称性の破れ等を含む予定です。

講義 C(8/10-11) : 「くり込み群と有効理論」 寺尾 治彦 氏 (金沢大学)

主に修士1年生を対象にくり込み群に関する話題を拾って講義する。前半では、特にウィルソン流のくり込み群を中心にして、摂動的くり込み群との比較、くり込み可能性、脱結合と有効理論、など基本的な事項について説明する。後半では、ウィルソン流のくり込み群の非摂動的な解析への応用として、簡単な臨界現象を扱う。更に素粒子論に現われるトピックとして、高次元理論のくり込み群、標準理論の問題と TeV 領域における素粒子模型との関係、についても少し触れる予定。

5.4 原子核パート

講義 A(8/7-8) : 「核子構造研究とその素粒子原子核物理における役割」 斉藤 直人 氏 (京都大学)

素粒子・原子核物理の発展は、核子構造の研究抜きには語れない。70年代における漸近自由性の発見をはじめとして、最近ではハドロンコライダーにおける研究の基礎を与え、また世界初の偏極陽子コライダーの登場、数年のうちに完成予定の LHC のなど、その重要性はますます高まっているといえる。この講義では、核子構造研究が如何に精密物理として発展してきたかを概観し、今後の素粒子・原子核物理における役割を考える。

講義 B(8/9-10) : 「低エネルギー重イオン反応における量子多体ダイナミクス」 萩野 浩一 氏 (東北大学)

クーロン障壁近傍のエネルギー領域における重イオン反応では、量子トンネル現象をはじめとして、様々な量子現象が見られる。そこでは、原子核の内部構造が反応に強く反映し、また逆に、反応を用いて原子核構造を調べることができる。講義では、このような原子核構造と原子核反応の織り成す相関を、特に重イオン核融合反応を中心に紹介する。原子核反応論の初歩から始め、結合チャンネル法の基礎と障壁分布法を議論し、重イオン反応を用いてどのように原子核構造を

決定できるかを紹介する。また、中性子過剰核を用いた融合反応や、準弾性散乱による障壁分布など最近の話題にも触れる予定である。

講義 C(8/10-11) : 「不安定核ビームの物理」福田 光順 氏 (大阪大学)

近年、いろいろな不安定核ビーム生成施設を用いて様々な分野の研究が成果を上げてきており、世界のいくつかの研究所では、大規模な不安定核ビーム施設の計画が進展しつつある。この講義では不安定核ビームの基礎から応用までを、実際の研究施設やそこで行われている研究の最近の状況を取り上げ広く紹介する。中でも特に、核半径、核モーメントなど、核構造と密接につながる原子核の基礎物理量を中心とした研究と、超微細相互作用を利用した素粒子物理や物性物理への応用研究について重点を置いて解説したい。

研究会 A(8/2) クォーク・ハドロンパート研究会

研究会 B(8/4) Topics 講義

研究会 C(8/6) 構造/反応パート研究会

5.5 高エネルギーパート

講義 A(8/10) : 「Ashra による超高エネルギー素粒子天文学の創生」佐々木 真人 氏 (東京大学宇宙線研究所)

ガリレオ以来、光や電磁波をプローブに用いた天体観測は、大型化と多波長化の技術的發展を経て目覚ましい進歩を遂げてきた。しかし、素粒子物理の観点からは、電磁波の発生源は動き回る電子であり、電磁波による天体観測は天体近傍の電子の動きを通して天体を間接的に知る手法であったと言える。電磁力以外の基本力である「弱い力」や「強い力」が活躍する超高エネルギー素粒子現象が宇宙には数多あるに違いないが、未だ深いベールに包まれている。幸い素粒子の性質は加速器実験によって精密に分かってきている。その素粒子の知識を応用し、今まで見たこともない天体や宇宙を見てやろう。それが、素粒子物理学と天文学の融合による天体の探索 超高エネルギー素粒子天文学であり、今まさに創生の期を迎えている。その使命のため設計された Ashra の特徴は、天体を追尾することなく、全夜天を常時監視できること、蛍光とチェレンコフ光を同時観測できること、素粒子の到来方向を「1 分角」という高精度で決定できること、宇宙からの超高エネルギーニュートリノを初めて発見し、その発生源を特定する十分な感度を有することである。関連する素粒子物理、宇宙物理、および検出器についてやさしく講義する。

講義 B(8/7-8) : 「BファクトリーとスーパーBファクトリー」羽澄 昌史 氏 (高エネルギー加速器研究機構 (KEK))

素粒子のフレーバー構造は、現代の素粒子物理学の最大の謎の一つである。この講義では、クリーンなルミノシティフロンティアとして大成功をおさめている B ファクトリーが、クォークのフレーバー物理について現在までにどのような知見をもたらしたのかを、B ファクトリーをよく知らない人に向けて解説する。特に、小林益川理論がどこまでよくテストされているかについて述べる。又、世界の超高エネルギー物理の将来計画について触れ、標準模型を超える物理を研究する上で、スーパー B ファクトリーが果たす役割について説明する。

6 注意事項

- 門限は 24:00 になっていますので、必ず守るようにしてください。(正門は 23:00 に閉まります)
- 現地での予約(食事・宿泊)の変更はできません。
- 荷物の管理は各自で行ってください。
- 身分証明書(学生証など)と保険証をご持参下さい。
- 宿泊室、研修室での飲酒、飲食はできません。
- 宿泊室内は禁煙です。喫煙は談話コーナーの灰皿のある場所に限ります。また、歩行中の喫煙、吸殻の投げ捨ては厳禁です。
- 宿泊室、談話室の利用はセルフサービス方式です。特に利用最終日の朝に「宿泊室利用確認カード」、「生活のしおり」を参考に、清掃、整頓を必ず行ってください。
- 入室時、必ず部屋の備品のチェックを行ってください。もし破損箇所などがあった場合は、本部のほうに申し出てください。また、部屋を汚したり、壊したりしないようにしてください。万一、そのようなことがあれば、弁償していただきます。
- 施設の利用マナーについて、入室時に「生活のしおり」に必ず目を通しておいてください。
- 付近住民や、他の利用者の方々の迷惑にならないよう、良識をもって行動してください。
- 期間中の犯罪行為に対しては問題の大小に関わらず、警察への通報、協賛団体への実名報告等、しかるべき処置を取ります。

7 交通手段

開催地となる「国立オリンピック記念青少年総合センター」までのアクセスは以下の通りです。



7.1 公共交通機関を利用する場合

最寄り駅... 小田急線 参宮橋駅/地下鉄千代田線 代々木公園駅

小田急線 参宮橋駅の利用

JR 山手線 新宿駅で小田急線に乗り換え

小田急線 参宮橋駅 より 南へ徒歩 7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅の利用

代々木公園方面出口より 北へ徒歩 10分

京王バス

新宿駅西口 (16 番) 乗車 } ⇒ 代々木 5 丁目下車 所要時間の目安 東京駅より 約 25 分 (JR

渋谷駅西口 (14 番) 乗車 }

中央線経由)

羽田空港より 約 70 分 (東京モノレール・JR 山の手線経由)

7.2 施設周辺地図



※赤線は、参宮橋駅からの歩道橋を使った経路です。
青線は、参宮橋駅からの横断歩道を使った経路です。

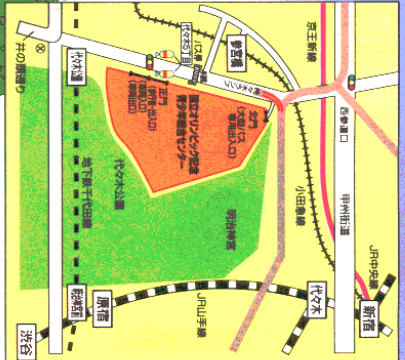
施設の案内

(Map of the Center)

独立行政法人
国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052
東京都渋谷区代々木神園町3番1号
申込受付専用電話 03(3469)2525 FAX.03(3469)2277
TEL.03(3467)7201(代表) FAX.03(3467)7797
ホームページ <http://www.nyc.go.jp>

- とき (Time)
- えくら (Clock)
- トイレ (Toilet)
- コインランドリー (Coin Laundry)
- サービスコーナー (Service Corner)
- バスルーム (Bath Room)
- ロッカー (Locker)
- 郵便貯金ATM (Post Savings ATM)
- おむつ交換所 (Diaper Change Place)



交通案内

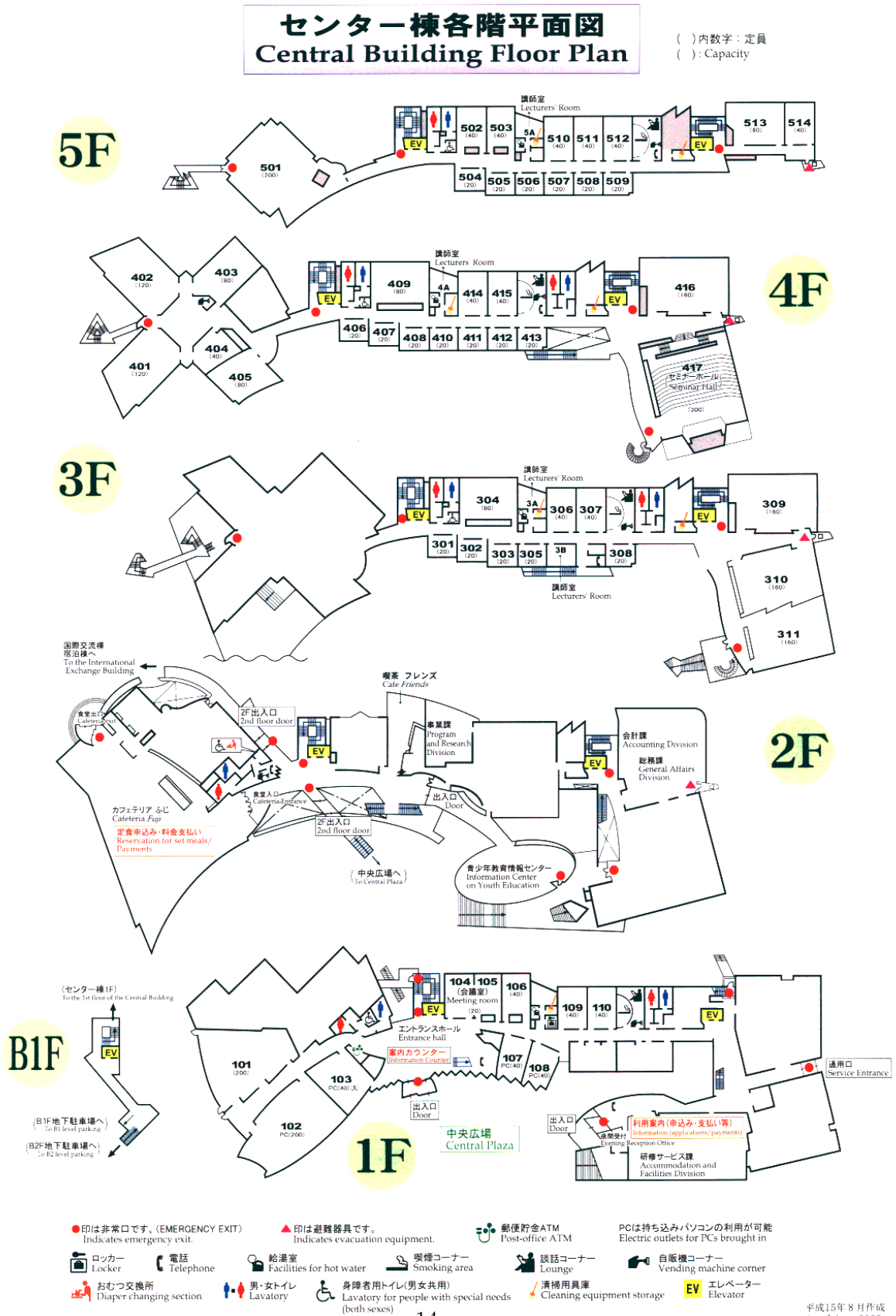
- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約10分
[代々木公園方面出口]
- 京王/バス
新橋駅西口(16番)より(代々木5丁目下車)
渋谷駅西口(14番)より



- 食堂 (Dining Hall)
- レストラン (Restaurant)
- 喫茶コーナー (Coffee Shop)
- 売店 (Shop)
- サービスコーナー (Service Corner)
- コインランドリー (Coin Laundry)
- 浴室 (Bath Room)
- ロッカー (Locker)
- 郵便貯金ATM (Post Savings ATM)
- おむつ交換所 (Diaper Change Place)

A 施設案内

B センター棟各階平面図



留意事項

以下の事項は引率責任者から各団体構成員に必ず周知してください。

当センターは青少年教育のための公共の施設です。
ご利用に際しては、他の利用団体の迷惑とならないようご協力ください。

環境美化	施設を大切に使用し、環境美化に努めてください。 案内掲示等は、指定された掲示板等に限ります。
喫煙	研修施設内は禁煙です。喫煙は喫煙コーナーなど灰皿のある場所に限りです。 特に歩行中の喫煙・吸殻の投げ捨て等は厳禁です。
懇談会・会食等	研修室内での飲食は原則としてできません。ただし、交流・交歓等のため、プログラム上必要な場合は、所定の場所での飲食は可能です。予めご相談ください。
備品類の破損	備品類を破損した場合は、研修サービス課事務室にご連絡ください。
不審物・不審者	不審物・不審者を発見した場合は、研修サービス課事務室にご連絡ください。
省エネルギー	エレベーター利用の自粛、節電・節水等にご協力ください。
貴重品の管理	盗難・紛失防止等の為、貴重品は団体又は各自で管理するか貴重品保管庫をご利用ください。
病気・けが (救急車)	急病やけが等で、救急車を呼ぶ必要がある場合は、必ず、研修サービス課事務室に連絡してください。
駐車	大型バス等車両はあらかじめ申請し、「大型バス駐車場」に駐車していただくことになっております。一般車輛（乗用車等）は「地下駐車場」をご利用ください。 荷物搬入等でご利用の場合は30分未満無料となっております。 *心身障害者等の駐車場利用料金免除がありますので、予めご相談ください。 *地下駐車場に入庫可能な車両の大きさ =長さ5.6m未満/幅1.9m未満/高さ3.1m未満(地下1階)・2.1m未満(地下2階)

ご利用中にご不明な点がございましたら、

センター棟1F 研修サービス課事務室（内線2256）にお尋ねください。

研修施設 利用後のマナー

～次に利用される方々のために～

使用された研修施設の整理・整頓等を次の要領で行ってください。

項 目	要 領
床	掃除用具で清掃してください。
ホワイトボード	文字等を残さないように、白板消しで拭いてください。
ボードマーカー	キャップを確実に閉めてください。
机・椅子	室内で移動した場合は、所定の位置に整頓してください。 机の上等を汚した場合は、雑巾（給湯室にあります）で拭いてください。
窓	退室時は必ず閉めてください。
照明・エアコン	退室時はスイッチを切ってください。
A V 操作卓 (80人以上の研修室)	使用したテープ等を取り出し、説明に従って終了操作を行ってください。 ワイヤレスマイクは教卓内の充電器へ格納してください。
ゴミ	ゴミ箱へ分別し捨ててください。 ただし、持ち込みされた資材類及び大量のゴミ等はお持ち帰りいただきます。

※清掃用具は、センター棟 各階の清掃用具庫（廊下の中央寄り1～2ヶ所）
スポーツ棟 体育室の各倉庫（器具庫）
カルチャー棟 各階廊下の中央付近（1ヶ所）にあります。使用後は元の位置に戻してください。

宿泊生活について

入室時	必ず避難経路を確認してください。 宿泊室備え付けの「インフォメーション」を必ずお読みください。
飲酒・飲食	宿泊室での飲酒・飲食はできません。宿泊D棟9階「レストランさくら」（7時～23時）、宿泊D棟1階売店（7時30分～21時50分）前談話コーナー、センター棟2階「カフェ フレンズ」（8時～19時）、カルチャー棟2階「レストランとき」（11時30分～21時）をご利用ください。
喫煙	宿泊室は全室禁煙です。A棟においては各ユニット談話コーナーでの禁煙又は喫煙について、各利用団体で決めてください。B・C棟においては指定の談話コーナー、D棟は3階・6階の喫煙コーナーに限り喫煙ができます。歩行中の喫煙・吸殻の投げ捨て等は厳禁です。
談話コーナー	利用の都度、必ず清掃・整頓を行ってください。 深夜のご利用は他団体の迷惑になりますのでご遠慮ください。
門限	正門は23時から6時までの間は閉めますが、脇の通用門は開いております。 引率責任者は常に団体の構成員の動向を把握してください。
入浴	利用時間は、各浴室とも17時から23時30分までですので、厳守してください。 A棟宿泊者 ユニット内の浴室をご利用ください。 浴室にはリンスインシャンプー・ボディソープがあります。 ドライヤー・タオルはありません。 B・C棟宿泊者 B棟横の浴室をご利用ください。 浴室にはリンスインシャンプー・ボディソープ及びドライヤーがあります。タオルはありません。
鍵の取り扱い	宿泊室を留守にする場合は、窓とドアを必ず施錠してください。 団体で外出する際は、引率責任者が鍵を一括して宿泊D棟1階フロントへ預けてください。 ※鍵の紛失は実費弁償となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。 (A・B・C棟5,515円 / D棟255円)
A棟ユニット	A棟ユニットは、割り当てられた団体の関係者以外の立ち入りはできませんので、くれぐれもご注意ください。
D棟	D棟の鍵はオートロックです。宿泊室に鍵を入れたまま外に出ると入室できませんので、ご注意ください。 室内にはスリッパ・タオル・バスタオル・リンスインシャンプー・ボディソープがあります。浴室利用の際は、ドアを閉めて、換気扇をつけてご利用ください。 (湯気が室内の火災報知機に反応して、発報することがあります。) D棟1階フロントでズボンプレスサー・アイロン・ドライヤーの貸出しができます。有料で寝間着も貸出しができます。
生活関連サービス	詳細は、宿泊室備え付けの「インフォメーション」をご覧ください。

宿泊室 利用の後に

※使用後は次の利用者がそのまま使用します。

宿泊室の清掃・整頓	利用した宿泊室（A・B・C棟）の清掃はセルフサービスです。部屋移動日及び利用最終日の朝に「宿泊室利用確認カード」、宿泊室備え付けの「インフォメーション」等を参考に、清掃・整頓を必ず行ってください。
シーツの返却	数えやすいように折り山を同じ方向に重ねて、20枚を一束にして紐でまとめて返却してください。（紐はリネン室で受け取れます。）